

World Cup volunteer レモネードスタンド（小児ガン支援）

令和2年2月22日（土）、アルペンスキーWorld Cup 運営ボランティアの一部に加えていただき、小児ガンのための研究・支援のための募金活動である「レモネードスタンド」をJR 越後湯沢駅にて行いました。

看板やポスターを手作りで用意し、募金して下さる方にお渡しするレモネードも納得のいく味になるまで試作を重ね、さらに「ワールドカップで世界中の人が集まるから、英語を使ってアピールしよう！」とワクワクしていたところですが、コロナウイルスの影響なのか、雪不足の影響なのか、海外の方に会う機会は予想していたほど多くはありませんでした。

ですが生徒たちの大きな声と、持ち前のチームワークと笑顔のおかげで、駅を訪れる多くの方々が募金に協力してくださいました。

そして何よりも、JR 越後湯沢駅の駅長様初め職員の皆様が、生徒が作ったポスターを大きく印刷してもっと目立つように掲示してくださったり、構内放送で生徒による英語と中国語のアナウンスをさせてくださったり、World Cup 実行委員、ボランティアの方々も生徒を助けてくださったりと、「地域の大人たちの助け」がこの募金活動を生徒が無事にやり遂げることができた要因であったと強く感じています。

「頑張っていると、応援してくれる人は必ず現れる。」と生徒たちは学びました。運搬など助けてくださった保護者の皆様、募金に御協力くださった方々、運営を助けてくださった多くの方に感謝申し上げます。

この生徒たちの頑張りで、小児ガンに苦しむ子どもたちの未来に少しでもお役に立てることが嬉しいです。

